

筑波研究学園都市記者会

令和元年11月18日同時配布

令和元年11月18日

道路局国道・技術課

国土技術政策総合研究所

道路をよりよくするための技術研究課題を募集します

～「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」募集～

令和元年11月12日に開催した第38回新道路技術会議において、令和2年度から道路政策の課題の解決を目指す研究課題を、研究者の方々から広く募集することとしましたのでお知らせします。

国土交通省道路局では、「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合し、道路政策の質を一層向上させるため、平成16年10月より新道路技術会議（委員長：前川宏一 横浜国立大学大学院教授）を設置しており、この度、下記のとおり研究課題を募集します。（詳細：別紙）

記

1. 募集期間

令和元年11月18日（月）から令和元年12月20日（金）

2. 研究期間

令和2年度から3年間以内（ただし、公募タイプに応じて研究期間が異なる場合あり）

3. 公募タイプ

タイプⅠ（政策実現型：現在の道路行政の重点課題の解決に資する研究）

タイプⅡ（技術ブレイクスルー型：技術的課題の画期的な解決を目指す研究）

タイプⅢ（新政策領域創造型：政策横断的な視点から道路行政の新たな政策領域を提案する研究）

タイプⅣ（特定課題対応型：道路行政における社会的なニーズ等を踏まえた特定の政策課題に対応した研究）

ソフト分野 ○バスタプロジェクトの整備効果計測・評価に関する手法開発

ハード分野 ○道路空間における非接触充電システム技術

4. 募集要領及び提案様式

国土交通省ホームページ (<http://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>) より、募集要領及び提案様式をダウンロードできます。

<問い合わせ先>

道路局国道・技術課

課長補佐 大場 慎治 舗装係長 梶原 正晃

代表 03-5253-8111（内線 37862、37855）

直通 03-5253-8492 FAX 03-5253-1620

国土技術政策総合研究所

道路研究官 高宮 進

直通 029-864-2219 FAX 029-864-0178

道路構造物管理システム研究官 星隈 順一

直通 029-864-7604 FAX 029-864-2690

令和2年度



道路政策の質の 向上に資する技術研究開発 技術研究課題の募集

12/20
まで!

産・学・官の連携を強化し、
「学」の知恵、「産」の技術を幅広い範囲で融合することにより、
道路政策の質の向上に資する技術研究開発を、研究者の方々から広く募集します。

1. 募集する研究テーマ

道路政策の質の向上に資するものであり、以下に示す「10の政策領域」のいずれかに関するもの(複数領域に関するものも可)で、かつ「公募タイプ」のいずれかに該当するものを対象とします。

なお、採択テーマ数は、本技術研究開発制度の予算総額を踏まえ、応募される研究テーマの内容等に応じて検討・決定される予定です。

○10の政策領域

1	新たな行政システムの創造
2	道路ネットワークの形成と有効活用
3	新たな情報サービスと利用者満足度向上
4	コスト構造改革
5	美しい景観と快適で質の高い道空間の創出
6	交通事故対策
7	防災・災害復旧対策
8	道路資産の保全
9	沿道環境、生活環境
10	自然環境、地球環境

○公募タイプ

公募タイプ	タイプⅠ 政策実現型	タイプⅡ 技術ブレイクスルー型	タイプⅢ 新政策領域創造型	タイプⅣ 特定課題対応型
概要	現在の道路行政の重点課題の解決に資する研究	技術的課題の画期的な解決を目指す研究	政策横断的な視点から道路行政の新たな政策領域を提案する研究	道路行政における社会的なニーズ等を踏まえた特定の政策課題に対応した研究
	実行可能性調査(FS) タイプⅠ～Ⅲにおいて、研究の本格採択にあたり事前に実行可能性や具体的方策等について検討・分析を行う研究は、FSとして応募することも可能です。 なお、審査結果によっては、提案者との合意のもと、FSとして採択される場合があります。			
研究費規模 (年間限度額)	タイプⅠ～Ⅲにおいて、研究の本格採択にあたり事前に実行可能性や具体的方策等について検討・分析を行う研究は、FSとして応募することも可能です。 なお、審査結果によっては、提案者との合意のもと、FSとして採択される場合があります。		タイプⅠ～Ⅲにおいて、研究の本格採択にあたり事前に実行可能性や具体的方策等について検討・分析を行う研究は、FSとして応募することも可能です。 なお、審査結果によっては、提案者との合意のもと、FSとして採択される場合があります。	
	タイプⅠ～Ⅲ：100万円程度から最大5,000万円まで(FSは単年度で100～1,000万円程度)。 タイプⅣ：(ソフト分野)最大5,000万円程度。 (ハード分野) (FS時) 100～1,000万円程度。(本格採択後)最大5,000万円程度。		タイプⅠ～Ⅲ：100万円程度から最大5,000万円まで(FSは単年度で100～1,000万円程度)。 タイプⅣ：(ソフト分野)最大5,000万円程度。 (ハード分野) (FS時) 100～1,000万円程度。(本格採択後)最大5,000万円程度。	
研究期間	タイプⅠ～Ⅲ：令和2年度から1～3年間。FSの実施期間は1年間(1年後に研究の本格採択の是非を審査)。 タイプⅣ：(ソフト分野)令和2年度から上限3年間。 (ハード分野) (FS時)令和2年度1年間。(本格採択後)令和3年度から上限3年間。		タイプⅠ～Ⅲ：令和2年度から1～3年間。FSの実施期間は1年間(1年後に研究の本格採択の是非を審査)。 タイプⅣ：(ソフト分野)令和2年度から上限3年間。 (ハード分野) (FS時)令和2年度1年間。(本格採択後)令和3年度から上限3年間。	

2. 募集方法

国土交通省道路局HP

(<http://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>)から

提案様式をダウンロードし、ご記入の上、印刷物と電子データ(CD-R等)にて、添付書類とともに下記期限までに、郵送(書留郵便に限る)又は宅配便にて提出ください。

- 提出期限：令和元年12月20日(金)(必着)
- 提出先：〒100-8918

東京都千代田区霞が関二丁目一番三号

国土交通省 道路局 国道・技術課

道路政策の質の向上に資する技術研究開発の募集係

3. 審査方法・手順

○審査方法

提案書類の審査は、国土交通省道路局に設置する専門家からなる新道路技術会議において行われます。

○審査手順

審査は一次審査、ヒアリング審査、二次審査が行われます。

新道路技術会議

🔍 検索

詳細はHP(<http://www.mlit.go.jp/road/tech/index.html>)をご覧ください。